

行つたのは何

考えて解決する問題は皆無ではないかと思う。解決するにはただ一点、行動しかない。しかもスピードと共にです。現代人は考えすぎではないか。考えることは行動にブレーキをかけることでしょうか。考えるだけでは何も解決しない。人はどうも考えると迷い続けて、行動しないものです。迷い感うだけで、結局は多くの人に「迷惑」をかける事に

なるのです。

行動しなければ何の証も得られないのには、思考は行動を奪い、力を奪う側面がある。

何を行つたのでしょうか。

「あまりにも考えすぎると人は何事も成し遂げられない」

ドイツの詩人・シラー

義理を捨て、薄情で、裏切る人は、組んでも利益は考えられない。今うまくいっているとしても最終的な評価はどうなるでしょうか。成功と云えるのでしようか。極端であるほど明快だ。迷つたら困難を選べと、そして圧倒的な努力をしたものだけが運をつかむ。迷つて迷つて決めた時に、腹を括れる。圧倒的努力で不可能の8割は埋めれると、見城徹(幻冬舎社長)氏は言っています。「禍の起こるは起こるときに遠し」

イカロスの技術

イカロスは太陽光圧を受け超薄膜の帆を広げて進む宇宙船です。

帆の広さはプラスチックのポリイミドで14×14=2744㎡(831坪)でグラム、薄さは7.50.2

何事も突然に起こるものではない。平日の心がけのあるものが事に臨んでも狼狽しない。現状をどう捉えて、どう考えるかですが。決断を妨げるものは、勇気や胆が欠落しているからでしょう。静観して、見えないものは簡単に捨てられても、見える自分のエゴはどうしても捨てられないものです。

◇ ◇

マイクロミクロン細菌並の薄さで、膜の表面には太陽電池と液晶パネルを付け、重さは3.5キロです。1円玉の5分の1の重さに当たる光の圧力を受けて進む。姿勢制御を含め世界一の技術を獲得しました。



惑星探査ハヤブサに次ぐ世界的な日本のハイブリッド技術です。

ソーラー電力セルは、帆の一部に薄膜の太陽電池を貼り付けて大電力発電を同時に行います。この電力を用いて高性能イオンエンジンを駆動することで、ハイブリッド推進を実現し、効率的で柔軟な宇宙のミッションが可能で



コペルニクス

日本の価値観がすでに完全に変わった。

これは歴史の転換点なのか? もう頑張れば報われるオヤジ達の時代ではない。社会の構造が変わってしまったのです。

「伸」の成長でなく明らかに20年前から「縮」の時代に入っています。これからも10年20年と続くでしょう。

しかし、今も前世代の価値観が色濃く残り、私たちの心を支配しています。

これだけ社会の情勢が変わっているのに、まだ私たちはなにも変わっていません。多くの時を失なっても、平和のボケと依存の価値観を変えることは難しいのです。

先進国?で四季がこれほど明確な国は他にありません。この中で豊かな発展を遂げてくださいましたが、最近人も変、どこか違和感を感じます。

多くの人が希望と幸福感が持てる社会の実現を、人生の目的にするも、闘いの道遠し。

(有)西川経営オフィスサービス
中村会計
事務所便り
2010年10月25日 (月) NO 152
地域から明るい未来を作ろう